

基礎看護学

目標 I

看護の概念及び展開について基本的な理解を問う

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
1 看護の基本となる概念	A. 看護の本質	看護の定義	基礎看護学① 1章-Ⅲ 看護とは何かを考える (P13)	
		役割と機能	基礎看護学① 4章-I-A 看護の役割と機能とは (P110), 基礎看護学④ 序章-I-C 臨床看護における看護師の役割と葛藤 (P5), IV 臨床看護における看護師の役割 (P15)	
		看護の変遷	基礎看護学① 2章 看護の過去から現在まで (P49)	
	B. 看護の対象	全体(whole)としての人間	基礎看護学① 3章-I-B 全体的存在としての人間 (P83)	
		成長・発達する存在	基礎看護学① 3章-I-C 人間の共通性 (P86)	
		ニーズをもつ存在	基礎看護学① 3章-I-C-3-4 人間の基本的ニードと成長のニード (P93), 基礎看護学④ 1章-II-A 人間がもつ基本的欲求 (P22)	
		生活を営む存在	基礎看護学① 3章-I-D-1 生活者としての人間 (P96), 基礎看護学④ 序章-I-B 生活者としての対象者 (P3), 1章-II-C 生活主体としての人間 (P26)	
		適応する存在	基礎看護学① 3章-I-C 人間の共通性 (P86)	
		社会・文化的存在	基礎看護学① 3章-I-D 人間の個性 (P96), 基礎看護学④ 1章-II-D 人間の共通性(一般性)と個性 (P28)	
		ライフサイクルと発達課題	基礎看護学① 3章-I-C-3-3 成長・発達を理解するうえで役立つ理論 (P89), 基礎看護学④ 1章-II-B 人間の発達段階と発達課題 (P24)	108-PM-32
	C. 健康と生活	健康のとらえ方	基礎看護学① 3章-II-A 健康とは何か (P101), 基礎看護学④ 3章-VII-B 健康であること (P115)	
		健康のレベル	基礎看護学① 3章-II 健康について考える (P101)	
		健康への影響要因	基礎看護学① 3章-II-A 健康とは何か (P101)	
		生活習慣とセルフケア	基礎看護学① 1章-Ⅲ-D-4 オレム:セルフケア不足を補う (P34), 3章-II-B-2 看護における健康の概念 (P107), 基礎看護学④ 3章-IV-D-3-2 セルフケア行動の支援 (P87)	
		QOLの維持と向上	基礎看護学① 3章-II-A-1-2-② ▶ QOL (P103), 基礎看護学④ 1章-II-C-2 クオリティ・オブ・ライフ(QOL) (P27), 3章-IV-D-3-4 QOL 充実への支援 (P90)	
		生活の場	基礎看護学① 4章-II-C 地域包括ケアシステム (P131)	
	D. 看護における倫理	基本的人権、世界人権宣言、個人の尊厳	基礎看護学① 3章-II-A-3 基本的人権としての健康 (P106)	111-AM-34
		倫理原則、職業倫理	基礎看護学① 6章-Ⅲ-A-2 医学研究における歴史 (P193), C 医療倫理の4原則 (P198), 基礎看護学④ 5章-I-B-1 インフォームドコンセント普及までの経緯 (P208)	
		患者の権利と擁護	基礎看護学① 6章-II-B-2 専門職としての倫理 (P186), 基礎看護学④ 5章-I-B-2 プロセスとしてのインフォームドコンセント (P210)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
1 看護の基 本となる概 念	D. 看護における倫理	倫理的葛藤と対応	基礎看護学① 6章-IV-C-2 患者中心の看護を实践するために (P202), 基礎看護学④ 5章-I-B-3 インフォームドコンセントにおける看護の役割 (P211), 5章-VII-B-2-1 ▶倫理的ジレンマ (P271)	
	2 看護の展 開	A. 対象との関係の形成	信頼関係	基礎看護学① 5章-IV 「看護師-患者」の援助関係と信頼関係 (P163), 基礎看護学④ 3章-V-A-3 医療者と患者・家族のコミュニケーション (P95), 4章-VII-D-1 患者-看護師関係と看護師の役割 (P185)
援助関係			基礎看護学① 5章-IV 「看護師-患者」の援助関係と信頼関係 (P163), 基礎看護学④ 3章-V-A-3 医療者と患者・家族のコミュニケーション (P95), 4章-VII-D-1 患者-看護師関係と看護師の役割 (P185)	109-AM-31
B. 基盤となる思考過程		根拠に基づいた看護<EBN>	基礎看護学① 7章-III-C-1-1 根拠に基づく看護 (EBN) (P227), 基礎看護学② 序章-B-1 経験だけでなく根拠に基づいた看護技術へ (P6)	
		クリティカル・シンキング	基礎看護学① 5章-II-C-1-1 クリティカルシンキング (P149), 基礎看護学② 序章-A-3 看護過程の展開における看護技術の位置づけ (P5), 1編-1章-I-3 看護過程とクリティカルシンキング (P15)	111-PM-34
		問題解決過程	基礎看護学① 5章-II-A 看護過程とは何か (P145), 基礎看護学② 1編-1章-V 計画 (P39)	
	C. 看護における連携と協働	看護職間の連携と協働	基礎看護学① 4章-I-B-1-2 主な看護体制 (P113)	109-PM-46
		多職種間の連携と協働	基礎看護学① 4章-II-B チーム医療 (P127), 基礎看護学④ 3章-VI-E-1 チーム医療としてのリハビリテーション (P110), VI-E-2 リハビリテーションにおける看護師の役割 (P112)	
		チームでの活動	基礎看護学① 4章-II-B チーム医療 (P127), 基礎看護学④ 3章-VI-E-1 チーム医療としてのリハビリテーション (P110), VI-E-2 リハビリテーションにおける看護師の役割 (P112)	

目標 II

基礎的な看護技術と適用のための判断プロセスについて基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3 看護にお ける基本 技術	A. コミュニケーション 109-PM-19 ▲	コミュニケーションの目的と構成要素	基礎看護学② 2編-2章-I コミュニケーションとは (P164), V 看護とコミュニケーション (P175)	
		コミュニケーションの基本的な技法	基礎看護学② 2編-2章-VII 医療における信頼関係とコミュニケーション (P186), 3章-IV-A-2-1) 面接 (P224), 基礎看護学④ 3章-V-A-3 医療者と患者・家族のコミュニケーション (P95)	110-AM-80 109-PM-38
		コミュニケーションに障害のある人々への対応	基礎看護学② 2編-2章-VIII 疾患に伴ったコミュニケーション障害がある人への対応 (P197)	111-PM-35
	B. 学習支援	学習に関わる諸理論	基礎看護学② 2編-3章-I-C-3 学習理論 (P208)	
		学習支援の方法と媒体	基礎看護学② 2編-3章-IV-A 指導内容と指導方法の決定 (P223), 基礎看護学④ 3章-III-E 回復期の患者への援助 (P73), IV-D-1 疾患の理解と受容過程への援助 (P86)	111-AM-36
		学習支援プロセス	基礎看護学② 2編-3章-II 指導技術の基本となるもの (P211), IV 指導の進め方 (P223)	
C. 看護過程	情報収集	アセスメント	基礎看護学② 1編-1章-III アセスメント (P26)	110-AM-32 109-PM-39
		アセスメント	基礎看護学② 1編-1章-III アセスメント (P26)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴	
3 看護における基本技術	C. 看護過程	計画	基礎看護学② 1編-1章-V 計画 (P39)		
		実施	基礎看護学② 1編-2章-VI 実施 (P43)		
		評価	基礎看護学② 1編-2章-VII 評価 (P45)	111-PM-36	
	D. 看護業務に関する情報	看護業務に関する情報の種類	基礎看護学② 1編-1章-III-A-4 情報の種類 (P33), 2章-III 看護記録の構成要素 (P75)		
		看護業務に関する情報の記録・報告・共有	基礎看護学② 1編-1章-IV-3 報告と記録 (P44)	109-AM-34 ▲	
	E. フィジカルアセスメント	看護におけるフィジカルアセスメントの意義	基礎看護学② 2編-1章-I 看護におけるヘルスアセスメント (P92)		
		問診の基本	基礎看護学② 2編-1章-II-B-1 問診 (P98)		
		身体診察(視診、触診、聴診、打診)の基本	基礎看護学② 2編-1章-II-B フィジカルアセスメントにおける基本技術 (P97)	112-PM-35 108-AM-38	
		全身の診察(全身の観察、バイタルサイン)	基礎看護学② 2編-1章-II-B フィジカルアセスメントにおける基本技術 (P97), II-C 一般状態のアセスメント①: バイタルサイン (P100)	112-AM-83 ▲	
		系統別のフィジカルアセスメント	基礎看護学② 2編-1章-III 系統的なフィジカルアセスメントの実際 (P128)	111-AM-37 109-PM-40, 82 108-AM-36	
	F. 感染防止対策	感染の成立と予防	基礎看護学② 2編-4章-I 感染と感染予防策の基礎知識 (P236), II 感染予防における看護師の責務と役割 (P243)	110-PM-90	
		標準予防策(スタンダードプリコーション)と感染経路別予防策	微生物学 6章-II 感染制御対策 (P142), 基礎看護学② 2編-4章-I-2 感染予防策の基礎知識 (P238), II 感染予防における看護師の責務と役割 (P243)	109-AM-33 108-PM-33	
		手洗い、消毒、滅菌法、無菌操作	基礎看護学② 2編-4章-III 感染源への対策 (P245), IV-A 手洗い (P257), C 滅菌物の取り扱い (P271)	112-AM-35 111-PM-37	
		感染性廃棄物の取り扱い	基礎看護学② 2編-4章-IV-D-2 感染性廃棄物の取り扱い (P279)	109-AM-30	
		感染拡大の防止の対応	基礎看護学② 2編-4章-IV-D 隔離法および感染源の拡散防止 (P277)		
	G. 安全管理(セーフティマネジメント)	医療安全の概念	基礎看護学② 2編-5章 安全管理の技術 (P289), 基礎看護学④ 6章-II-A 医療機器の安全管理 (P317)	110-PM-35	
		誤薬の予防と対策	基礎看護学② 2編-5章-III-B 誤薬防止 (P298), 基礎看護学④ 5章-IX-A-3 ▶ 5つのR: 過剰投与による事故の防止 (P278)		
		転倒・転落の予防と対策	基礎看護学② 2編-5章-III-D 転倒・転落防止 (P306), III-E 療養環境における危険防止 (P308)		
		チューブ・ライントラブルの予防と対策	基礎看護学② 2編-5章-III-C ライン・チューブトラブル防止 (P303), 統合と実践①医療安全 2章-II-E 点滴ライン, チューブ, ドレーン, カテーテル関連 (P207)		
		針刺しの予防と対策	基礎看護学② 2編-4章-IV-E 針刺し・切創・血液曝露事故防止 (P284)	112-PM-36	
H. 安楽の確保	安楽の概念	基礎看護学② 2編-6章-I 看護における安楽の意義 (P318)			
	ボディメカニクスの原理と看護実践への活用	基礎看護学② 2編-6章-III ボディメカニクスの基本 (P326), 基礎看護学③ 4編-4章-IV-A-2 体位変換の留意点 (P118)	112-PM-39 ▲ 111-AM-38		
	安楽な姿勢・体位の保持	基礎看護学② 2編-6章-II 安楽な体位の保持 (P319)	112-PM-37 109-AM-36		
	安楽を提供するためのケア	基礎看護学② 2編-6章-IV 様々な安楽確保の技術 (P334), 基礎看護学③ 5編-1章-VIII-B 冷電法 (P239), VII-C 温電法 (P242), 基礎看護学④ 4章-VIII-C-3 理学療法 (P200), VII-C-4 心理療法 (P200), VIII-D-2 痛みをもつ患者の看護 (P202)	109-AM-93 108-PM-23		

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3 看護における基本技術	H. 安楽の確保	安楽を保つための療養環境の調整	基礎看護学③ 4編-1章 環境を整える技術 (P2)	110-PM-36
	I. 終末期のケア	終末期の患者のケア	基礎看護学② 3編-2章-II-A 臨終前後の患者の状態 (P366), B 臨終まがかの看護 (P369), C 臨終時の看護 (P371), 経過別④終末期 2編-5章 臨死期の看護 (P286), 6章 在宅における看取り (P307)	112-AM-36
		終末期の家族のケア	基礎看護学② 3編-2章-II-D-4 遺族へのケア (P377), 経過別④終末期 2編-5章-V ビリーブメントケア (P301)	
		死亡後のケア	基礎看護学② 3編-2章-II-D 死後のケア (P372), 経過別④終末期 2編-5章-IV-B エンゼルケア (P298)	108-PM-34
4 日常生活援助技術	A. 環境	療養環境のアセスメント	基礎看護学③ 4編-1章 環境を整える技術 (P2)	
		療養環境の調整と整備	基礎看護学③ 4編-1章-II 病室と病床の環境調整 (P9)	109-AM-120
	B. 食事と栄養	健康な食生活と食事摂取基準	基礎看護学③ 4編-2章-II 食事・栄養摂取のアセスメント (P25)	
		治療食、療養食	基礎看護学③ 4編-2章-III-A 医療施設で提供される食事 (P31)	
		食事と栄養に影響する要因	基礎看護学③ 4編-2章-II 食事・栄養摂取のアセスメント (P25), 基礎看護学④ 4章-IV-C 栄養・排泄が障害されるということ (P145)	
		食事と栄養のアセスメント	基礎看護学③ 4編-2章-II-1 栄養状態のアセスメント (P25), 基礎看護学④ 4章-IV-E-1 栄養状態のアセスメント (P149)	108-AM-90, PM-35
		食事摂取の自立困難な人への援助	基礎看護学③ 4編-2章-III-B 経口摂取できる患者の食事介助 (P33), 基礎看護学④ 4章-IV-E-2 摂食行動に障害がある患者への援助 (P149)	
		嚥下障害のある人への援助	基礎看護学③ 4編-2章-III-B 経口摂取できる患者の食事介助 (P33), 基礎看護学④ 4章-IV-E-3-1 ① 摂食・嚥下障害 (P151)	108-PM-36
		経管・経腸栄養法	基礎看護学③ 4編-2章-IV 経腸栄養 (経管栄養) (P37), 基礎看護学④ 4章-IV-E-3-2 消化・吸収障害がある人への援助 (P153)	112-PM-80
		経静脈栄養法	基礎看護学③ 4編-2章-V 中心静脈栄養 (P48), VI 末梢静脈栄養 (P52), 基礎看護学④ 4章-IV-E-3-2 消化・吸収障害がある人への援助 (P153)	109-PM-43
	C. 排泄	排泄に影響する要因	基礎看護学③ 4編-3章-II 排泄のアセスメント (P62), 基礎看護学④ 4章-IV-C-2 消化・吸収・代謝・排泄プロセスの障害 (P146)	
		排泄のアセスメント	基礎看護学③ 4編-3章-II 排泄のアセスメント (P62)	
		自然な排泄を促す援助	基礎看護学③ 4編-3章-III 排泄の援助 (P63), IV 排便障害のある患者の援助 (P73), V 排尿障害のある患者の援助 (P81), 基礎看護学④ 4章-IV-E-4-1 排便障害がある人への援助 (P153)	
トイレ・ポータブルトイレでの排泄の援助		基礎看護学③ 4編-3章-III-A トイレを使用した排泄の援助 (P63), B ポータブルトイレを使用した排泄の援助 (P64), 基礎看護学④ 4章-IV-E-4-column 最期までトイレに行きたい (P154)		
床上での排泄の援助		基礎看護学③ 4編-3章-III-C 差し込み便器を使用したベッド上での排便の援助 (P66), D 尿器を使用したベッド上での排尿の援助 (P69), E おむつ交換 (P71)		

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4 日常生活援助技術	C. 排泄	自然な排泄が困難な人への援助	基礎看護学③ 4編-3章-IV 排便障害のある患者の援助 (P73), V 排尿障害のある患者の援助 (P81), VI-A 洗腸 (P85), B 摘便 (P88), C ストーマケア (P91), D 一時的導尿 (P97), E 持続的導尿 (留置カテーテル法) (P101), 基礎看護学④ 4章-IV-E-4 排便・排尿の異常に対する援助 (P153)	112-AM-37 109-PM-42 108-PM-104
		尿失禁・便失禁のある人への援助	基礎看護学③ 4編-3章-IV-C 便失禁 (P79), V-A 頻尿と尿失禁 (P81), 基礎看護学④ 4章-IV-E-4 排便・排尿の異常に対する援助 (P153)	
	D. 活動と運動	活動と運動に影響する要因	基礎看護学③ 4編-4章-II 活動のアセスメント (P109), 基礎看護学④ 4章-V-A-3 運動機能障害の主な原因 (P157), B-2-1 運動機能の低下の原因 (P160)	
		活動と運動のアセスメント	基礎看護学③ 4編-4章-II 活動のアセスメント (P109), 基礎看護学④ 4章-V-A-4 運動機能障害のアセスメント (P157)	
		活動と運動を促す援助	基礎看護学③ 4編-4章-III 運動機能の維持・回復のための援助 (P113), IV-A 体位変換 (P117), B 車椅子・ストレッチャーでの移動の援助 (P129), D 歩行の援助 (P139), 基礎看護学④ 4章-V-B-3 運動機能障害がある患者の看護 (P162)	110-PM-37
	E. 休息と睡眠	休息と睡眠に影響する要因	基礎看護学③ 4編-4章-VI 睡眠の援助 (P143)	
		休息と睡眠のアセスメント	基礎看護学③ 4編-4章-VI 睡眠の援助 (P143)	112-AM-38 109-AM-35
		休息と睡眠を促す援助	基礎看護学③ 4編-4章-VI-4 睡眠の援助 (P147)	108-AM-39
	F. 清潔と衣生活	清潔と衣生活に影響する要因	基礎看護学③ 4編-5章-I-2 清潔援助の対象とアセスメントのポイント (P150), X-A-2 療養に適した衣服の条件 (P183)	
		清潔と衣生活のアセスメント	基礎看護学③ 4編-5章-I-2 清潔援助の対象とアセスメントのポイント (P150)	
清潔行動・衣生活の自立困難な人への援助		基礎看護学③ 4編-5章-II 入浴 (P155), III 手浴 (P160), IV 足浴 (P163), V 陰部洗浄 (P166), VI 全身清拭 (P168), VII 洗髪 (P173), VIII 口腔ケア (P177), X 衣生活 (寝衣交換) (P183)	111-AM-40 110-AM-36 108-AM-40	
5 診療に伴う看護技術	A. 呼吸、循環、体温調整	呼吸・循環・体温調整のアセスメント	基礎看護学③ 5編-1章-I-B-1 呼吸状態のアセスメント (P194), VII-A 体温管理・保温の基礎知識 (P238), 基礎看護学④ 4章-II-D-1-1 呼吸状態のアセスメント (P125), III-D-1 循環状態のアセスメント (P137), 6章-IV-B 診断・観察用の医療機器の種類 (P324)	110-AM-81, PM-34, 38 109-AM-38
		呼吸を楽にする姿勢と呼吸法	基礎看護学③ 5編-1章-II 呼吸を楽にする姿勢・呼吸法 (P196), 基礎看護学④ 4章-II-D-1-2-① 気道の確保 (P126), II-D-1-2-③ 体位の工夫 (P127)	109-AM-92 108-AM-41
		血圧・血流を保持する姿勢	基礎看護学② 2編-6章-II-B 安楽に体位を保持する方法 (P324), 基礎看護学④ 4章-III-D-2 循環障害による症状に対する看護 (P138)	
		酸素吸入の適応と方法	基礎看護学③ 5編-1章-IV 酸素吸入療法 (P208), 基礎看護学④ 4章-II-D-1-2-④ 酸素療法 (P127), 6章-V-2 酸素療法機器 (酸素流量計) (P330)	112-PM-90 108-PM-37
		口腔内・鼻腔内・気管内吸引の適応と方法	基礎看護学③ 5編-1章-III-B 一時的吸引 (P200), V 胸腔ドレナージ (P214), 基礎看護学④ 6章-V-4 吸引器 (P332)	109-AM-80
		排痰法の適応と方法	基礎看護学③ 5編-1章-III 気道分泌物の排出の援助 (P198), 基礎看護学④ 4章-II-D-1-2-② 気道の浄化 (P127)	
		体温調整のための方法	基礎看護学③ 5編-1章-VIII-B 冷電法 (P239), VII-C 温電法 (P242)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
5 診療に伴う看護技術	B. 皮膚・創傷管理	創傷の治癒過程	基礎看護学③ 5編-2章-I-3 創傷の治癒過程 (P247)	112-PM-40 ▲ 111-AM-41
		創傷のアセスメント	基礎看護学③ 5編-2章-II 創傷の観察 (P249)	110-AM-82
		洗浄、保護、包帯法	基礎看護学③ 5編-2章-III 創傷の処置 (P250)	109-AM-22
		褥瘡の予防と治癒の促進	基礎看護学③ 5編-2章-IV 褥瘡の予防 (P261)	109-PM-45
	C. 与薬	与薬における看護師の役割	基礎看護学③ 5編-3章-I-A 薬物療法の理解 (P270), B 薬物療法における看護師の役割 (P277), 基礎看護学④ 5章-IX-D がん薬物療法を受ける患者の看護 (P287)	
		薬剤の種類と取り扱い方法 頻出	基礎看護学③ 5編-3章-II 経口与薬法 (P280), III 外用薬の皮膚・粘膜適用 (P285), IV 注射法 (P299), 基礎看護学④ 5章-IX-A がん薬物療法とは (P274)	111-AM-39, 90, PM-38 110-PM-39 109-AM-39 108-PM-38
		与薬方法と効果の観察	基礎看護学③ 5編-3章-I-C-4 与薬後の観察 (P280), II 経口与薬法 (P280), III 外用薬の皮膚・粘膜適用 (P285), IV 注射法 (P299), 基礎看護学④ 5章-IX-C-1 がん薬物療法の作用 (P280)	112-PM-41
		与薬の副作用(有害事象)の観察	薬理学 1編2章-III 薬物の相互作用 (P40), 基礎看護学③ 5編-3章-I-C-4 与薬後の観察 (P280), 基礎看護学④ 5章-IV-D-4 副作用の早期発見と対処 (P241)	
	D. 輸液・輸血管理	輸液・輸血の種類と取り扱い方法	基礎看護学③ 5編-3章-V-A-1 輸血療法の適用と種類 (P330)	111-PM-39
		輸液・輸血の管理方法 頻出	基礎看護学③ 5編-3章-V-A-3 輸血療法を受ける患者の援助 (P331), 基礎看護学④ 5章-VII-C-4-2 輸血・輸液・薬品管理 (P264), 〈別巻〉治療法概説 2編-6章-III-3 創傷管理, ドレーン管理, 輸液ライン管理(含, 動脈ライン) (P284)	112-AM-41 111-PM-23 110-AM-23, 37 109-PM-90 108-AM-42
		輸液・輸血の副作用(有害事象)の観察	基礎看護学③ 5編-3章-V-B 輸血療法の方法 (P333)	
	E. 救命救急処置	生命の危機的状況のアセスメント	基礎看護学③ 5編-5章-I 救命救急処置の意義と目的 (P386), II-A 心肺蘇生とは (P386), II-B 心肺蘇生とAEDを用いた除細動 (P387), 基礎看護学④ 5章-VII-B 救急治療を必要とする患者・家族とは (P258), VII-C-1 フィジカルアセスメントと生命維持の援助 (P259), 2 情報収集と整理 (P262)	
		一次救命処置(BLS)	基礎看護学③ 5編-5章-II-B 心肺蘇生とAEDを用いた除細動 (P387), 基礎看護学④ 5章-VII-C-1-1-① 一次救命処置 (P259), 6章-V-5-2 自動体外式除細動器(AED) (P334)	112-PM-42 110-PM-40 109-PM-44 108-AM-5 ▲
		止血法	基礎看護学③ 5編-5章-III 止血法 (P397)	111-PM-40
	F. 生体機能のモニタリング	診察・検査時の看護師の役割	基礎看護学③ 5編-4章-I 検査に伴う看護の役割 (P340), 基礎看護学④ 5章-VII-C-4 検査・処置などの介助 (P264)	
		検体検査(血液、尿、便、喀痰、胸水、腹水、骨髄液) 頻出	基礎看護学③ 5編-4章-II 排泄物の検査 (P342), III 体液・組織の検査 (P345)	112-AM-39, 42, PM-38 111-PM-41 108-AM-37, 43
		生体検査(エックス線撮影、超音波、CT、MRI、心電図、内視鏡、核医学)	基礎看護学③ 5編-4章-IV 生体検査 (P364)	112-AM-43, PM-77 ▲ 110-AM-38
		経皮的動脈血酸素飽和度(SpO ₂)の測定、血糖測定	基礎看護学③ 5編-4章-IV-K パルスオキシメトリー (P379), L 生体情報モニター (P380), 基礎看護学④ 6章-IV-B-5 パルスオキシメーター (P328)	112-PM-43 ▲ 109-AM-37

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
5 診療に伴 う看護技術	F. 生体機能のモニタリング	モニタリング機器の取り扱い	基礎看護学③ 5編-4章-IV-L 生体情報モニター (P380), 基礎看護学④ 6章-IV 診断・観察に用いる医療機器 (P322)	

目標Ⅲ

保健・医療・福祉の中で看護の果たす役割について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
6 看護の役割と機能	A. 看護の場に応じた活動	在宅における看護活動	基礎看護学① 4章-I-B-2 地域・在宅における活動 (P115), 基礎看護学④ 序章-II-B-5 在宅における看護の特徴 (P13)	
		医療施設における看護活動	基礎看護学① 4章-I-B-1 医療施設における活動 (P112), 基礎看護学④ 序章-II-B-2 入院患者を看護する看護師の役割 (P10), II-B-4 医療施設(外来)における看護の特徴 (P13)	
		保健施設と福祉施設における看護活動	基礎看護学① 4章-I-B-3 介護老人保健施設における活動 (P115), 老年看護学① 9章-IV 施設看護 (P212)	
	B. 保健・医療・福祉の連携と継続看護	保健・医療・福祉のチームにおける看護職の役割と機能	基礎看護学① 4章-II-B チーム医療 (P127), 基礎看護学④ 3章-VI-E-1 チーム医療としてのリハビリテーション (P110)	
		保健・医療・福祉の連携を支える仕組み	基礎看護学① 4章-II-C 地域包括ケアシステム (P131)	
		施設内・施設間における継続看護	基礎看護学① 4章-II-B-2-2 チーム医療の意義 (P128), 地域・在宅 4章-IV 療養移行支援 (P141)	